

第 2 部

平成 16 年度年間事業評価の結果

< 概要 >

まず、評価手法に基づいて課題毎の評価内容をどのように記述するのかについて、評価フォーム記載要領として解説しています(1.)。

次に、「基本業務分野」、6 つの「事業分野」(注)の順に、課題毎の評定と具体的な評価内容を記しています。なお、「事業分野」については、各分野の冒頭に課題の解説と評価の要約を掲載しています(2.3.)。

(注)「基本業務分野」...3 つの課題群

事業に関する課題 / 財務に関する課題 / 組織能力に関する課題

「事業分野」...6 つの分野

国際金融秩序安定への貢献 / 開発途上国の経済社会開発支援 / 我が国の資源の安定確保 / 我が国の資本・技術集約型輸出の支援 / 我が国産業の国際的事業展開の支援 / 開発途上国の地球規模問題への対応支援

最後に、平成 16 年度年間事業評価の結果を踏まえて、平成 14～16 年度業務戦略評価(2005 年 2 月実施済)について総括的に事後的な検証を加えています(4.)。

年間事業評価の手法(第1部第3章参照)に基づいて各「課題」への取り組み状況を評価した結果については、以下の評価フォーム記載要領にて記載しています。

課題〇〇
□□□□□□□□

取り組み例	指標	2001 (13年度)	2002 (14年度)	2003 (15年度)	2004 (16年度)	
					計画	実績
① △△△△△△△△	(指標1) ○○○○○○○○					
	(指標2) ○○○○○○○○					
② ○○○○○○○○	(指標3) モニタリング指標 ○○○○○○○○					
評価結果						

A: 適切な取り組みがなされている。B: 概ね適切な取り組みがなされている。C: 取り組み状況を踏まえた新たな対応策が必要。
 -: 外部環境の変化等により評価不能。

課題の番号、名称

指標の実績値と2004年度計画値

評価(A, B, C)

1. 年間事業計画に掲げている取り組み例に関する評価

- ① △△△△△△△△
 - ・(指標1)については…
 - ・(指標2)については…
- <事例紹介>
- ・××××以外においても…
- ② ○○○○○○○○
 - ・(指標3)については…

「取り組み例」毎の取り組み状況の評価

各「指標」の達成度の定量分析(質的側面を加味)

取り組みの実績を分かりやすく示す事例

2. 追加的な取り組みに関する評価 (年間事業計画に予め掲げていないもの)

- ・□□□□すべく、…に取り組みました。

計画上の「取り組み例」以外で、「課題」への取り組みとして評価しうる実績の定性評価

3. 課題への取り組み状況の評価結果

- ・ 上記に照らし、課題への
 - 適切な取り組みがなされたと評価されます。
 - 概ね適切な取り組みがなされたと評価されます。
 - 新たな対応策が必要と評価されます。
- ・ 本課題については、外部環境の変化等により評価不能と判断されます。
- ・ 今後、…必要があります。
- ・ なお、平成14~16年度業務戦略評価報告書では…

項目1.2.の評価を総合化した、段階評価の結果

評価結果を踏まえた業務改善策等

本課題の業務戦略評価、平成17年度以降の業務戦略での扱いに関する補足